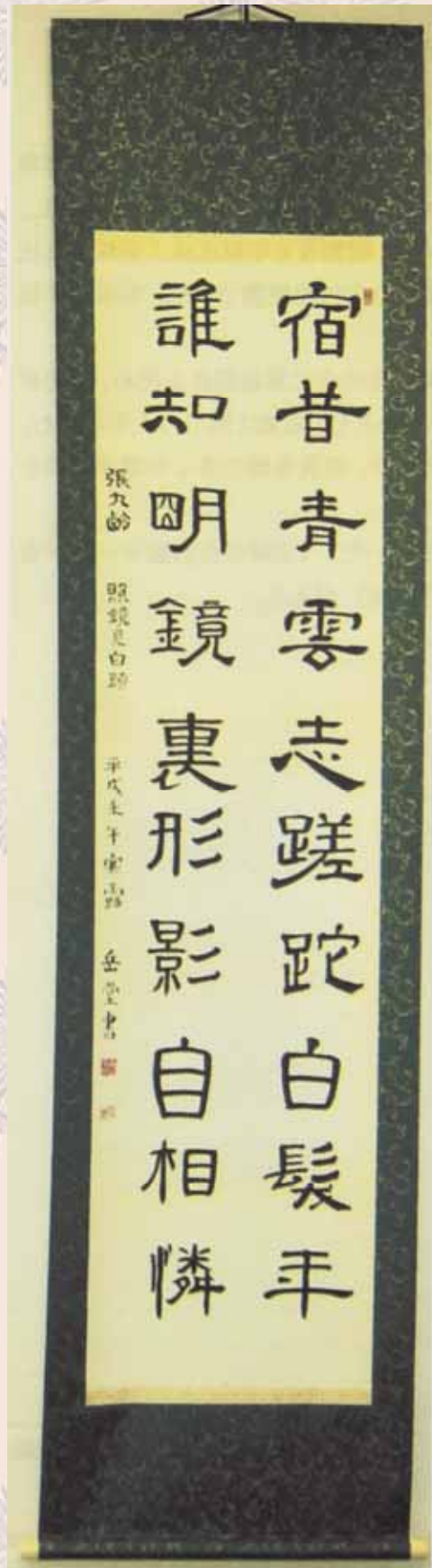


18、「照鏡見白髪」 張九齡（鏡に照らして白髪を見る 張 9れい）



十八、「照鏡見白髪」

18、「照鏡見白髪」 張九齡（鏡に照らして白髪を見る 張 9れい）

宿昔青雲の志 嵯陀「さだ」たり白髪之年  
誰か知らん明鏡の裏 形影自ずから相憐れまんとは

（大意）その昔、若い頃には、立身出世をして、自分の抱負を実現しようという志を持っていたが、事に躓いてぐずぐずしている内に、今や、白髪の老人になってしまった。全く予期しなかったことではあるが、鏡を見れば、わが身と鏡に映った自分とが互いに哀れみあっていることだ。

この詩は、師匠が習字教室の一隅に、小さな紙に書いて張り付けていた詩である。私より1回り上の干支、つまり12歳年上の兄貴だった。

70台の後半には数回の手術を繰り返しながら、懸命に前向きに生きていかれた。逝去される2ヶ月前まで教室で弟子たちの指導に情熱を燃やし続けられた。

まことに私にとって、「得難い」「在り難い」指導者であり、書を通じて、奥行きが深い、インド・中国哲学に興味を持たせてくれた恩人だった。どんな思いで、この詩を書いて飾っておられたか、お尋ねする術もなくなってしまった。その師匠の年代になって、師匠を偲んで私も書いてみた。

## 作者紹介

森山志郎（もりやま しろう）

昭和4年大分県に生まれる。昭和28年九州大学法学部卒業。同年古河鉱業株式会社に入社、昭和38年同社を退社し、旭化成工業株式会社に入社、昭和56年旭化成工業札幌支社長となり、活躍中の昭和60年に脳梗塞で入院、平成元年退社。

リハビリに励みながら障害者の会に事務局長を務め、歴史研究、書道、カメラなどを趣味とし、元気に第二の人生を歩む。現在、片マヒ自立研究会主宰、以後各地で多くの講演活動を始める。

著書に「歩けた！ 手が動いた」（主婦の友出版サービスセンター、「心が動く」（荘道社）がある。

片マヒ自立研究会 出版部会 制作（笠井 雅雄）

非売品

平成16年1月

<http://homepage2.nifty.com/katamahi-1/index.html>

戻る